公益財団法人不老会会員の皆様へ

当講座では、下記の医学系研究を実施しています。この研究は，愛知医科大学医学部倫理委員会において，ヘルシンキ宣言の趣旨に添い，人を対象とする医学系研究に関する倫理指針，ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し，医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は，対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく，研究内容の情報を公開し，研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし，この研究に関するお問い合わせなどありましたら，以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	機能解剖学に基づく人体組織の力学特性計測に関する研究
研究機関名	愛知医科大学医学部
研究機関の長	医学部長　　笠井　謙次
担当科等	解剖学講座
研究責任者	准教授　畑山　直之
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	【非該当】
研究の意義・目的	人体構造では、力学的な負荷が原因で起こる様々な疾患が存在します。例えば、腱と周囲組織の機械刺激が原因で起こる腱鞘炎や、捻挫による靭帯損傷などが挙げられます。他にも、食道の力学的な作用不全による嚥下障害などもあります。こういった、筋肉や靭帯、神経などの生体組織について、それぞれの力学的な関係性と特性が明らかになれば、力学現象が原因で起こる疾患に対して、発症リスクのある危険な動作の解明や、具体的な治療案の確立に繋がることが期待できます。これは、医療・福祉・スポーツ科学などにおいて切に望まれている要素といえます。
対象となる患者さん	倫理審査承認日から 2028 年 3 月 31 日までに医学教育に使用される御献体
研究の方法	医学教育に提供された御献体を対象として解剖を行います。力学特性の異なる組織（骨格筋、平滑筋、心筋、靭帯、神経、骨、その他軟部組織）を採取し，長さや周径，質量などを測定した後，エコー検査等の画像解析を行います。また，引張試験等により組織の物性値を計測します。採取した組織より組織切片を作成し，顕微鏡観察を行います。得られた情報を比較・統合することで，生体内における器官ごとの力学負荷の解析を行います。
研究期間	倫理審査承認日　～　2028 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報	試料：御献体 情報：年齢・性別・献体登録時の情報
外部への試料・情報の提供	**【なし】**
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は，下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし，試料・情報が個人を識別できる場合

場合	のみ対応可能です。
その他	本研究は科学研究費補助金で行う研究であり、利益相反の状態にはなりません。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部　解剖学講座 担当者：准教授　畑山　直之 電話 0561-62-3311（内線 12307）